



12月のコラム

～結婚相手に「容姿」を求める女性が過去最高に！

タイトルをご覧になってどう思われましたでしょうか？

ずっと、結婚相手に求める条件として、「男は女の容姿を求め、女は男の経済力を求める」と言われてきました。しかし、2021年の最新の出生動向基本調査*では、「重視する」「考慮する」を合わせた指標で、女性が結婚相手に求める条件として「容姿」が1992年の調査以降の過去最高記録の81.3%となりました。もともと「人柄」「家事育児能力や姿勢」「仕事への理解と協力」の3項目については、男女とも高い割合を示していましたが、はじめてこの「容姿」条件が男性より女性のほうがわずかですが上回ったのです。

もちろん、女性側の条件として「男性の経済力」は相変わらず高く、91.6%もありますが、令和の時代において「男は経済力だけではなく容姿まで求められるようになった」と言えそうです。

そして・・・同時に男性側の条件としての「女性の経済力」も年を追うごとに増加してきています。つまり、女性は男性の容姿を求めるようになり、男性は女性の経済力を求めるようになったわけです。今までの男女の条件が逆転したかのようですが、「結婚は、男も女も顔とお金の両方を求め始めた」ということになります。「なんで女は顔やねん！」と憤慨していた私としては、当然でしょと言いたくなりますが、未婚率が上がっているのはこんなところも要因が？！

まあ、この調査結果についてはそれぞれに感じていただくことにして、この話題を取り上げていた記事でもう一つ興味深かったのが、「容姿に自信のある男性ほど年収も高い」という他の研究調査の結果です。ここで注視したいのが、「容姿の良しあし」は、自己採点であるということ。客観的にイケメンであるとかカッコいいとかでなく、自分が自分をどう評価しているかとうことになります。

美容整形をして自信がいたら人生が変わったという話は良く聞きます。整形の場合は、実際に外見の変化があるわけですが、意外と人は、自分が気にするほど人のことは気にしていないもの。要は、自分がどう思うかで結果が変わる可能性があるということ。

自分に自信を持つ、自分を肯定するということはそう簡単ではないのかもしれませんが、捉え方、考え方は自分で変えることができます。全ては結果が出てからという考えに縛られず、たとえ根拠がなくても自信を持つことで、人との出会いを楽しめたり、収入が増えたりするならそれもありません。

*出生動向基本調査（2021年社会保障・人口問題基本調査 国立社会保障・人口問題研究所）



2022年12月のコラム 水田かほる